

(社)日本建築学会
戸建て住宅の振動特性 WG 第 2 回議事録 (案)
兼 振動特性調査 SWG 第 2 回議事録 (案)

A. 日 時： 平成 27 年 10 月 22 日 (木) 17:30-19:30

B. 場 所： 建築会館会議室 301

C. 出席者：(名簿順)

国松主査 他 9 名

D. 配付資料：

番号	内容
2-0	第 1 回 WG 及び SWG 議事録 (案)
2-1	戸建て住宅の振動特性 WG&SWG 10/22 事前作業記録表
2-2	騒音制御学会論文について
2-3	第 34 回環境振動シンポジウム開催概要

E. 議事内容：

1. 第 1 回 WG 及び SWG 議事録 (案) 確認

- ✓ 議事内容 1. 2015 年～2016 年 → 2015 年度～2016 年度 に修正
- ✓ その他修正項目なく、承認された。

2. 戸建て住宅の振動特性調査に向けて …資料 2-1

- ✓ 本資料のねらい
 - ①文献整理のための項目だし
 - ②WG として将来取り組むテーマの抽出
- ✓ 資料中 1/18,2/19,3/20 とある行は削除。
- ✓ No.1-3：多点観測で建物を 3 次元で状態を把握したいということが狙いか。
- ✓ No.4-9：平坦道路はマンホールや切り貼り部の段差の影響が大きい
 - ：鉛直振動は地盤と建物が一体で振動する。床で大きくなるケースもあるが、各階で大きな差はない。
 - ：3 次元固有値解析はモデル化が難しい。実績はない。
 - ：建設段階で計測は、躯体、外装、内装の施工時期がラップするため難しい。
- ✓ No.10-14：サッシカタカタ音は可動範囲を狭くすればよいのではないか。
 - 単体の固有振動数が分かっても意味はほぼない。
 - ：No.11,12,13 は既測定結果で概ね把握できている。
- ✓ No.15：構造設計と環境振動に対する建物設計を一連で理解することを期待する内容
 - ：環境振動で揺れると、地震ではもっと大きく揺れるのではないかという一般的な問いに繋がる大事な視点である。
- ✓ No.17：鉛直振動の対策方法に関して、竹宮先生から WIB 工法について現状報告をしたいと言う申し入れがあった。
 - 次回に報告を願うように依頼する
 - WIB 工法と土嚢との違いを知りたい

- ✓ No.25 : 測定位置に関しては、日本騒音制御工学会の振動測定マニュアルが参考にできる
- ✓ No.26 : 風には変動係数の固有振動数があり、それで建物が揺れているので、応答と風速が一致することはない。超高層は変動係数の固有振動数と建物の固有振動数が合わない設計をしている。戸建て住宅ではそのようなことはしていない。
- ✓ 今回は資料内容の確認までとし、次回、振動特性に対して注目する項目を検討する。

3. 日本騒音制御工学会の発表資料について …資料 2-2

- ✓ 法律で対応できないような事象に関して、振動発生者と苦情者の話し合いに役立てるための測定・評価マニュアルを紹介している。
- ✓ 資料 P58 の URL にてマニュアルは日本騒音制御工学会 HP にてダウンロードできる。
http://www.ince-j.or.jp/04/04_page/04_doc/bunkakai/sindouhyouka/index_15.html
- ✓ 振動にかかわる苦情比率で、建設作業が約 66%を占めているが、戸建て住宅ではほとんどが道路振動という認識であり、乖離している。
環境省まで実態が届かないケースが多いのではないか。
- ✓ 本資料の内容
 - 測定・評価事例紹介
 - 地盤での測定についての注意点
 - 測定器とその対象振動 など
- ✓ 日本建築学会大会(2015)オーガナイズドセッション 9件について、必要であれば梗概集で内容確認の上、連絡いただければ資料提供可能

4. 第 34 回環境振動シンポジウムについて(国松主査) …資料 2-3

- ✓ 2016 年 2 月 5 日(金)に開催
- ✓ 建物の安全性と居住性に関する設計フローについて

5. 次回

2015 年 12 月 8 日(火) 15:00~17:00 建築会館会議室 を予定
論文検索リストを見ながら項目検討を実施

以上